

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第30週の発生動向

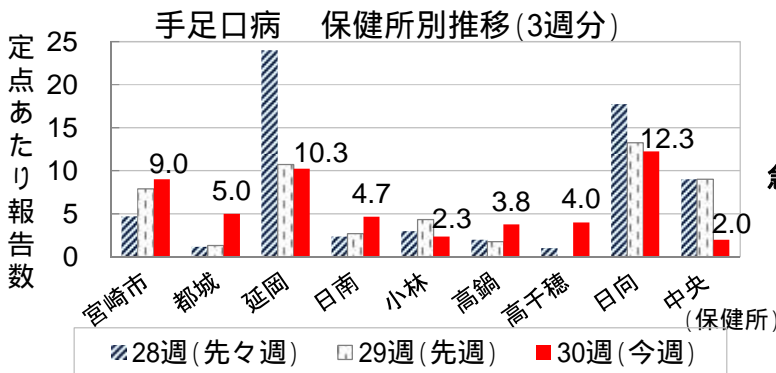
定点医療機関からの報告総数は809人（定点あたり25.3）で、前週比116%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、大きく減少した疾患はなかった。

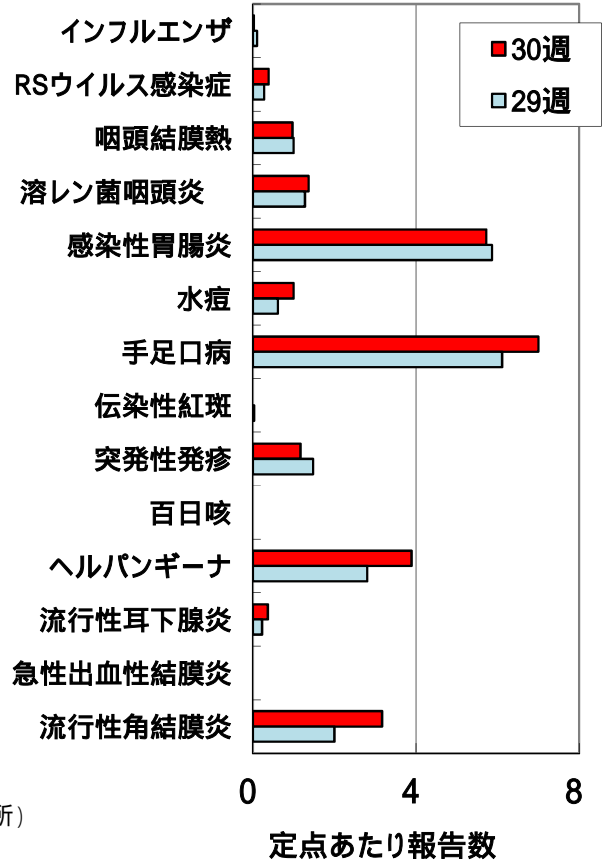
インフルエンザ・小児科定点からの報告

【手足口病】

・報告数は252人（7.0）で前週比115%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*（5.2）の約1.4倍である。日向（12.3）、延岡（10.3）保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約8割を占めた。



(前週との比較)

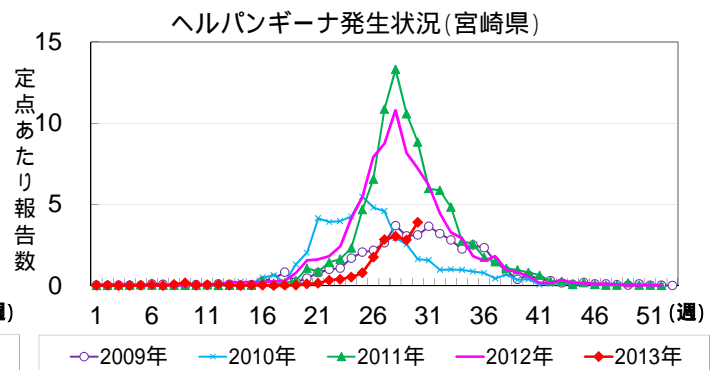
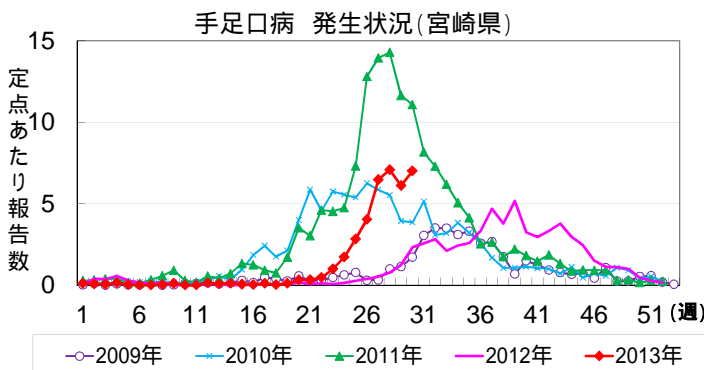


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【ヘルパンギーナ】

・報告数は140人（3.9）で前週比139%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値*（4.6）の約8割である。延岡（11.0）保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：宮崎市、都城保健所管内で各 1 人報告された。

- ・患者は 7 ヶ月で病原体は不明。
- ・患者は 5 ヶ月で病原体は RS ウイルス。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(9.0)
都城	手足口病(5.0)
延岡	咽頭結膜熱(3.0)、手足口病(10.3) ヘルパンギーナ(11.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(12.3)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 3 例。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 10 例。
- 4 類感染症： 重症熱性血小板減少症候群 1 例、日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症： ウイルス性肝炎 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	無症状病原体保有者	-
			60 歳代	無症状病原体保有者	-
			60 歳代	その他の結核 (脊椎カリエス)	胸痛、腹痛、坐骨神経痛
3類	腸管出血性 大腸菌感染症	都城	1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			2 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			1 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			2 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O26(VT1産生)
			2 歳	無症状病原体保有者	原因菌：O血清型不明(VT1産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	都城	80 歳代	患者	発熱、頭痛、筋肉痛、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、紫斑、刺し口等
	日本紅斑熱	宮崎市	80 歳代	患者	発熱、刺し口、発しん
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	60 歳代	C 型	全身倦怠感、肝機能異常、食思不振

病原体情報（衛生環境研究所微生物部平成 25 年 7 月 29 日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
エコーウイルス18型	7d	女	2013.6.30	髄膜炎、38.6	髄液	2013.7.29
エコーウイルス18型	3	女	2013.6.28	エンテロ疑い、37.2、発疹	咽頭ぬぐい液	2013.7.29
エコーウイルス18型	1	女	2013.7.9	風疹(麻疹)疑い、37.8、発疹	咽頭ぬぐい液	2013.7.29

髄膜炎と診断された乳児1名、エンテロウイルス感染症疑いの幼児1名、風疹、麻疹疑いの幼児1名からエコーウイルス18型が分離された。エンテロウイルスは夏季を中心に多く検出され、年によって種々のタイプのエンテロウイルスが周期的に流行する。今年度、当所でのエコーウイルス18型の分離は13例あり、エンテロウイルス属の中では最も多く分離されている。エコーウイルス18型が分離された患者の年齢は1歳未満が最も多く、また、臨床症状としては発熱、発疹、髄膜炎、上気道炎などの症状がみられた。

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	不明	女	2013.7.11	EHEC疑、無症状	便	2013.7.19
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	5~9	男	2013.7.12		便	2013.7.21
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	40歳代	男	2013.7.16		便	2013.7.21
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	20歳代	男	2013.7.18	EHEC疑、腹痛、水様性下痢、発熱	便	2013.7.24
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0~4	女	2013.7.17		便	2013.7.21
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	女	2013.7.22		便	2013.7.27

患者2名から腸管出血性大腸菌が検出された。

患者4名から*Salmonella*属菌が検出された。そのうち、患者2名から*Salmonella* *Corvallis*が検出された。

*S. Corvallis*は、全国的に分離頻度が少ないが、宮崎では比較的よく分離される血清型である。また、*Salmonella*属菌は食中毒の原因菌の一つで、一般的に加熱不十分な鶏肉や卵などが主な感染源となる。昨年本県で実施された食品収去検査では、鶏肉から*S. Corvallis*が2件分離されている。*Salmonella*属菌による食中毒の報告数は毎年夏にピークをむかえることから、今後も引き続き注意が必要である。

全国第 29 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 18.9 で、前週比 98%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

手足口病の報告数は 25,455 人(8.1)で前週比 115%と増加した。埼玉県(18.7)、東京都(13.7)、大分県・山口県(各 12.6)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 29 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	急性灰白髄炎	1 例	結核	332 例		
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	135 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	5 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	40 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	2 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	19 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	5 例	梅毒	18 例
	破傷風	2 例	風しん	184 例	麻しん	2 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第30週(07月22日～07月28日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	1	1								
	定点あたり	0.10	0.02	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	14	1	2	6			5			
	定点あたり	0.28	0.39	0.10	0.33	1.50	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	35	11	3	12	6		2		1	
	定点あたり	1.00	0.97	1.10	0.50	3.00	2.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	49	11	3	21	4		2	1	5	2
	定点あたり	1.28	1.36	1.10	0.50	5.25	1.33	0.00	0.50	1.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	211	206	51	36	6	34	32	12	1	29	5
	定点あたり	5.86	5.72	5.10	6.00	1.50	11.33	10.67	3.00	1.00	7.25	5.00
水痘	報告数	22	36	10	2	9	4		1		9	1
	定点あたり	0.61	1.00	1.00	0.33	2.25	1.33	0.00	0.25	0.00	2.25	1.00
手足口病	報告数	220	252	90	30	41	14	7	15	4	49	2
	定点あたり	6.11	7.00	9.00	5.00	10.25	4.67	2.33	3.75	4.00	12.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	53	42	7	12	2	5	5	5		5	1
	定点あたり	1.47	1.17	0.70	2.00	0.50	1.67	1.67	1.25	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	101	140	26	23	44	14	1	12		20	
	定点あたり	2.81	3.89	2.60	3.83	11.00	4.67	0.33	3.00	0.00	5.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	13		6	1				1	3	2
	定点あたり	0.22	0.36	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00	1.00	0.75	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	19	9	8	2						
	定点あたり	2.00	3.17	3.00	4.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	2	1	1							
	定点あたり	0.14	0.29	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～30週)

2類感染症	急性灰白髄炎	1例	結核	146例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32例(10)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)
	つつが虫病	4例	日本紅斑熱	6例(1)	レジオネラ症	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	3例(1)	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	6例	破傷風	3例
	風しん	22例				

()内は今週届出分、再掲